

1. レベル別ルール表

*競技規則・・・2017年～2020年（公財）日本体操協会競技規則（日体協HP確認事項を含む）

レベル	種目	D	参加基準	申告用紙
チャンピオンの部 シニア	2	身体難度BD 3～9難度（シニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低1回 AD 最低1個	2019年度 全道インターハイ6位入賞者 北海道新体操大会 高校2種目の部3位入賞者 全道中体連6位までの入賞者 北海道新体操大会 中学2種目の部3位入賞者 全道選手権3位入賞者 全日本Jr出場者 全国中体連出場者 全国インターハイ出場者 北海道JrAクラス3位以内	
チャンピオンの部 ジュニア		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし		
8	1	身体難度BD 3～9難度（シニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低1回 AD 最低1個	2019 ライチャレ レベル7・6位入賞者 または 中学生以上対象	なし
7		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	2019 ライチャレ レベル6・6位入賞者 全道中体連出場経験対象	
6		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	2019 ライチャレ レベル5・6位入賞者 または 全道大会2種目経験小学生対象	
5		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個（一回転でOK） ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	2019 ライチャレ レベル4・6位入賞者 または 中学生対象 高校2部	
4		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個（一回転でOK） ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	2019 ライチャレ レベル3・6位入賞者 または 小学生対象 徒手レベル2 6位入賞者	
3		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） Rは入れないこと ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	競技歴1年未満～2年以内 *小学高学年～中学生までが望ましい 2019 ライチャレ レベル2・6位入賞者	
2		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） Rは入れないこと ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	競技歴1年未満～2年以内 *未就学児・小学低学年～中学 年までが望ましい	

- ※今年度各全道大会において2種目以上で出場していた選手は、レベル6以上に出場すること
- ※過年度徒手レベル2入賞者は手具レベル4以上に出場すること（レベル3以下には出られません）
- ※レベル2のRについて、演技中に実施した場合カウントはしない。また減点もしない。
- ※レベル2・3・4については高体連二部ルールを採用する。
- ※高校2部の選手についてはレベル5以上です。

徒手レベル	種目	ルール詳細	申告用紙
2		5難度（ジャンプ2 バランス2 ローテーション1）左右同難度 ステップシリーズ最低1個 ①身体難度の右、左を記入・・・動脚を記入 ②ステップシリーズの記号は で記入 ③身体難度に回転や波動を付け加えることができる ④徒手レベル2についてはマルチプルローテーションの使用は認めない ⑤難度については若干の許容あり ☆小学3・4年生☆	
1		3難度（ジャンプ1、バランス1、ローテーション1） ステップシリーズ最低2個 ①6番ルルベバランス（2秒以上） ②垂直とび（連続二回以上） ③ルルベ歩き（前のみ連続最低6歩以上） ④スキップ（最低4歩以上） ※①～④はすべて0.2点 ※①～④は全て単独で行うこと ※ステップシリーズの中に①～④を入れても加点とならない ※同じ難度の繰り返しは無効とする ※アクロバットは難度の前後に行うもののみ加点となる ※指定した難度以外は加点とならない ☆未就学児～小学1・2年生☆	○

※徒手レベル1・2については高体連二部ルールを採用する
 ※徒手レベルは指定された学年より上のレベルに出ることは可能だが下のレベルに出ることは禁止
 ※徒手レベルは規定数以外の難度（0.2以上）を行った場合は0.3の減点とする

団体

レベル	種目	適用ルール	要求難度	申告用紙
Jr	1手具で自由選択	2017年～2020年日本体操協会競技規則・採点規則Jrルール	☆難度（D） ・交換を伴うED（最低3個） ※チャイルドのみ（2～3個） ・交換を伴わないBD（最低3個） ☆ダンスステップコンビネーションS 最低2個 ☆回転と投げを伴ったダイナミック要素R 最高1個 ☆連係C 最低4個	なし
Sr	自由選択	2017年～2020年日本体操協会競技規則・採点規則Srルール	☆難度（D） ・交換を伴うED（最低4個） ・交換を伴わないBD（最低4個） ☆ダンスステップコンビネーションS 最低1個 ☆回転と投げを伴ったダイナミック要素R 最高1個 ☆連係C 最低4個	
徒手団体 ジュニア	徒手	別紙参照		○
徒手団体 チャイルド	徒手	別紙参照		

2020 ライラックチャレンジ 新体操男子個人競技 レベル別規則

日本体操協会競技規則および採点規則一部改定を適用する。ただし次のレベル別規則を優先とする。

レベル	種目数	難度不足による減点	必要難度について	難度の詳細について	構成点(満点)	実施点(満点)	合計点(満点)	参加制限
レベル8	4	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 D 3 C 2 Bの難度を入れること。	特記事項なし	～10.0	～10.0	～20.0	制限なし
レベル7	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・2 D 2 C 2 B以上の難度を入れること。	投げ受け・タンブリングともにD難度の技を入れること。	～10.0	～10.0	～20.0	制限なし
レベル6	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 D 3 C 2 Bの難度を入れること。	投げ受け・タンブリングともにC難度以上の技を入れること。かつ、D難度の技を入れること。	～8.0	～10.0	～18.0	制限なし
レベル5	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・3 C 2 Bの難度を入れること。	投げ受け・タンブリングともにC難度以上の技を入れること。	～7.0	～10.0	～17.0	制限なし
レベル4	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 C 2 Bの難度を入れること。	特記事項なし	～6.0	～10.0	～16.0	制限なし
レベル3	2	B 難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・2 Bの難度を入れること。	特記事項なし	～5.0	～10.0	～15.0	制限なし
レベル2	1	A 難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 Aの難度を入れること。	特記事項なし	～4.5	～10.0	～14.5	小学生まで
レベル1	徒手	特記事項なし	・ <u>日本体操協会 個人徒手ルールに準ずる</u>	<u>ジュニアルールを採用する。</u>	～10.0	～10.0	～20.0	制限なし

- (1) レベル2に出場する選手は、スティック・リング・ロープ・クラブから1種目を選択すること。
- (2) レベル3～7に参加する選手は、スティック・ロープから1種目、リング・クラブから1種目を選択すること。
- (3) 各レベルの要求された難度の数以上の難度は、ランク下の難度として数えることができるが評価の対象ではない。
- (4) レベル3、レベル4で上位3位になった選手は、次の年は上のレベルに出場しなければならない。
- (5) 前年度参加したレベルより、下のレベルには参加できない。(レベル1徒手とレベル8を除く)

(6) レベル2～8は高体連一部競技規則に準ずる。

2020 ライラックチャレンジ 新体操男子団体競技 規則

日本体操協会競技規則および採点規則一部改定を適用する。

レベル	種目	必要難度について	難度の詳細について	構成点(満点)	実施点(満点)	合計点(満点)	参加制限
レベル2	徒手	D難度を1つ以上、C難度を3つ以上、B難度を2つ以上入れなければならない	<u>高校・一般の部については高体連一部競技規則に準ずる。</u>	～10.0	～10.0	～20.0	制限なし
レベル1	徒手	D難度を1つ以上、C難度を2つ以上、B難度を2つ以上入れなければならない	<u>小中学生の部についてはジュニア規則に準ずる。</u>	～10.0	～10.0	～20.0	制限なし